

平成 30 年度肝炎医療指標 (修正前・後)

肝炎・肝硬変全般	指標番号 (旧)	指標番号 (新)	項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
重み							
重要	肝炎-1	肝炎-1	日常診療に肝線維化指標を用いている	日常診療に非侵襲的肝線維化診断を用いている患者数	B 型肝炎、C 型肝炎患者数	「日常診療」とは、入院、外来の際に評価し、必要時には患者への説明も実施すること。「非侵襲的肝線維化診断法」とは、APRI、FIB-4 などの線維化指数、フィブロンキヤンなどの超音波線維化診断法、MRE などの MRI 線維化診断法のこと	
重要	肝炎-2	肝炎-2	日常診療に Child-Pugh スコアを用いている	日常診療に Child-Pugh スコアを用いている患者数	B 型肝炎、C 型肝炎患者数 (肝硬変)	「日常診療」同上	
重要	肝炎-3	肝炎-3	画像診断を定期的に変更している	画像検査 (US/CT/MRI) を病状に応じて定期的に実施している患者数	B 型肝炎、C 型肝炎患者数	「病状に応じて」施設基準を設けて実施していること (肝臓学会ガイドライン準拠)	
重要	肝炎-4	肝炎-4	腫瘍マーカーを定期的に測定している	AFP/PVCA-II を病状に応じて定期的に測定している患者数	B 型肝炎、C 型肝炎患者数	導入している = 1, 導入していない = 0	
標準	肝炎-5	肝炎-5	肝炎ウイルス陽性者受診動向 (電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムを導入している	定義 = 1	導入している = 1, 指示していない = 0	
標準	肝炎-6	肝炎-6	肝炎ウイルス陽性者受診動向 (電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムにより、消化器内科・肝臓内科への受診を指示した患者数	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムによる定義 = 1	電子カルテシステム以外の動向 (院内メール等) も含む	
標準	肝炎-7	肝炎-7	肝炎ウイルス陽性者受診動向 (電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムにより、消化器内科・肝臓内科以外の診療科から紹介されたウイルス肝炎患者数 (受診した患者数)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムにより、陽性と判明した肝炎患者数	紹介後の転向が不明な患者数の算入が期待される	削除あるいは重み案を「参考」に変更、現時点では調査困難。
標準	肝炎-8		肝炎ウイルス陽性者受診動向 (電子カルテによる陽性者アラートシステム)	電子カルテを用いた肝炎ウイルス陽性者アラートシステムにより判明した陽性者のうち転向が不明の患者数			削除あるいは重み案を「参考」に変更、現時点では調査困難。
C 型肝炎 (新)	指標番号 (新)		項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
重要	肝炎-9	肝炎-7	医師が C 型肝炎治療前に治療適応・治療法の選択について説明をしている	医師が治療前に HCV 治療ガイドラインに基づいて説明して同意を得ている人	C 型肝炎に対する抗 HCV 治療を受けた人	「C 型肝炎」は慢性肝炎、肝硬変を含む (以下同じ) 医師からの説明	
重要	肝炎-10	肝炎-8	C 型肝炎に対する初回 DAA 治療前に HCV セロタイプまたはジェノタイプ検査を実施している	初回 DAA 治療開始前に HCV セロタイプまたはジェノタイプ検査を実施した人	C 型肝炎患者で DAA 治療を受けた人		
標準	肝炎-11	肝炎-9	初回 DAA 治療失敗例に対する 2 回目以降 DAA 治療前の RAS 検査を実施している	治療開始前に HCV RAS 検査を実施した人	C 型肝炎患者で DAA 再治療を受けた人	2 回目以上の DAA 治療を受けた患者を対象とする	再治療に関する改善のため分母を変更。
重要	肝炎-12	肝炎-10	C 型肝炎に対する DAA 治療前の併用薬剤の薬物相互作用 (DDI) の安全性確認をしている	DAA 治療開始前に併用薬を医師または薬剤師等が確認した人	C 型肝炎患者で DAA 治療を受けた人	薬剤師院内・院外問わず	
重要	肝炎-13	肝炎-11	C 型肝炎に対する SVR 評価基準を設けている	SVR 評価を終了後 12 週と 24 週で実施している人	C 型肝炎患者で DAA 治療を受けた人	SVR12 と SVR24	
標準	肝炎-14	肝炎-12	肝線維化指標に応じて SVR 後フォローアップ基準を設けている	治療前後の線維化指標を説明し、フォローアップの重要性を説明し、SVR 後のフォローアップに際して通院を指示した人	C 型肝炎治療を受けて SVR となった人	FIB-4、M2BPGI など	
重要	肝炎-15	肝炎-13	C 型肝炎 SVR 後のフォローアップ方針を設けている	医師から SVR 後の定期的通院を指示した人	C 型肝炎治療を受けて SVR となった人	「SVR 後のフォローアップ」とは、治療実施した当該施設への通院等のこと (以下同じ)	
重要	肝炎-16	肝炎-14	C 型肝炎 SVR 後のフォローアップ方針を設けている	SVR 後の定期的画像検査を実施している (施設の方針に基づき)	C 型肝炎治療を受けて SVR となった人	「定期的」は施設基準による	

重要	肝炎-17	肝炎-15	C型肝炎 SVR後のフォロー方針を設けている	SVR後に肝臓癌化指標を定期的に評価している人	C型肝炎治療を受けてSVRと なった人	M2BPGI/APRI/FIB-4、ファイブスコアなど	
重要	肝炎-18	肝炎-16	C型肝炎 SVR後のフォロー方針を設けている	SVR後の定期的な腫瘍マーカー測定を実施している	C型肝炎治療を受けてSVRと なった人	「定期的」は施設基準による	
B型肝炎	指標番号 (新)		項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
重要	肝炎-19	肝炎-17	医師がB型肝炎治療前に治療適応・治療法の選択について説明をしている	医師が治療前にHBV治療ガイドラインに基づいて説明して同意を得ている人	B型肝炎に対する抗HBV治療を受けた人	医師からの説明	
重要	肝炎-20	肝炎-18	B型肝炎に対する治療前の併用薬剤の薬物相互作用 (DDI) の安全性確認をしている	核膜アナログ治療開始前に併用薬を医師または薬剤師等が確認した人	B型肝炎 (肝硬変) 患者で核膜アナログ治療を受けた人	薬剤師は院内・院外問わず	
標準	肝炎-21	肝炎-19	抗HBV療法の短期効果を評価している	抗HBV療法開始後6ヶ月、1年時点でHBVDNAで治療反応性を評価した人	B型肝炎 (肝硬変) 患者で抗HBV治療を受けた人		
参考	肝炎-22	肝炎-20	抗HBV療法の長期効果を評価している	核膜アナログ服用中でHBs抗原量を定期的に測定している人	B型肝炎 (肝硬変) 患者で核膜アナログ治療を受けた人		
参考	肝炎-23	肝炎-23	抗HBV療法の長期効果の評価している	PegIFN治療後にHBs抗原量を定期的に測定している人	B型肝炎 (肝硬変) 患者でPegIFN治療を受けた人		削除 (対象症例が少ない。調査 省力化のため)
重要	肝炎-24	肝炎-21	B型肝炎に対する抗HBV治療中 (後) のフォロー	画像検査を定期的に実施している人	B型肝炎 (肝硬変) 患者で抗HBV治療を受けた人	「定期的」は施設基準による	
標準	肝炎-25	肝炎-22	B型肝炎に対する抗HBV治療中 (後) のフォロー	腎機能検査、骨密度検査 (または血清PS値) を定期的に行なっている人	B型肝炎 (肝硬変) 患者で抗HBV治療を受けた人	アナヘレル、テノホビル、テノホビル・アラブエンアイトを内服している患者	
肝炎	指標番号 (新)		項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
重要	肝炎-1	肝炎-1	肝硬変の合併症の評価基準を設けている	食道・胃静脈瘤の検査目的で上部消化管内視鏡を定期的に行な した人	肝硬変と診断された患者数	「定期的」は施設基準による 「肝硬変」は施設の専門医 による診断	
標準	肝炎-2	肝炎-2	肝硬変の合併症の評価基準を設けている	栄養相談・栄養指導を実施した患者数	肝硬変と診断された患者数	「肝硬変」は施設の専門医による診断	
参考	肝炎-3	肝炎-3	肝硬変身体障害者申請を実施している	肝硬変身体障害者制度に関する説明をした患者数	定数=1		
肝炎	指標番号 (新)		項目	分子	分母	備考	
参考	肝炎制度-1	肝炎制度-1	B型肝炎給付金制度を説明している	B型肝炎給付金制度を説明した 必ず説明している=2 説明することがある=1	定数=1	制度の「説明」は医師、看護師、MSWなど、職種を問わな い(以下同じ)	
参考	肝炎制度-2	肝炎制度-2	C型肝炎給付金制度を説明している	C型肝炎給付金制度を説明した 必ず説明している=2 説明することがある=1	定数=1		
参考	肝炎制度-3	肝炎制度-3	ウイルス肝炎定期検査費用助成制度を説明している	ウイルス肝炎定期検査費用助成制度を説明した 必ず説明している=2 説明することがある=1	定数=1		
参考	肝炎制度-4	肝炎制度-4	肝がん・重症肝硬変研究支援事業を説明している	肝がん・重症肝硬変研究支援事業を説明した 必ず説明している=2 説明することがある=1	定数=1	「肝がん・重症肝硬変研究支援事業」は平成30年12月以 降に開始	

肝炎ウイルス検診	指標番号 (旧)	指標番号 (新)	項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
重み							
重要	自治体検診-1	自治体検診-1 1	肝炎ウイルス検診実施市町村の割合 (健康増進事業)	肝炎ウイルス検査実施市町村	市町村数 (都道府県別)	健康増進事業による肝炎ウイルス検査実施の有無	削除 (全自治体で実施済みのため)
絶対	自治体検診-2		肝炎ウイルス検査実施都道府県の割合 (特定感染症検査、保健所分)	肝炎ウイルス検査実施都道府県数・保健所設置市数	全都道府県数・保健所設置市数		
参考	自治体検診-3		妊婦健診肝炎ウイルス検査結果を把握している市町村の割合 (全国及び各都道府県別)	妊婦健診肝炎ウイルス検査の結果を把握している市町村数	妊婦健診に肝炎ウイルス検査実施市町村数 (全国及び各都道府県別)	研究班として提案する指標	削除
重要	自治体検診-4	自治体検診-2	都道府県別、40歳以上人口10万人当たりの肝炎ウイルス検診受検率 (健康増進事業分)	肝炎ウイルス検査受検者数 (健康増進事業分)	40歳以上人口10万人	健康増進事業分と特定感染症検査事業分を分けて指標化	
重要	自治体検診-5	自治体健診-3	都道府県別、成人10万人当たりの肝炎ウイルス検診受検率 (特定感染症検査事業分)	肝炎ウイルス検査受検者数 (特定感染症検査事業分)	成人10万人		
絶対	自治体検診-6		都道府県別、肝炎ウイルス検査陽性率 (健康増進事業分)	HCV抗体陽性者数、HBS抗原陽性者数 (健康増進事業分)	肝炎ウイルス検診受診者数 (健康増進事業分)		削除 (検査結果であり、行政施策の内容でないため)
絶対	自治体検診-7		都道府県別、肝炎ウイルス検査陽性率 (特定感染症検査等事業分)	HCV抗体陽性者数、HBS抗原陽性者数 (特定感染症検査等事業分)	肝炎ウイルス検査受検者数 (特定感染症検査等事業分)		削除 (検査結果であり、行政施策の内容でないため)
重要	自治体検診-8	自治体検診-4	都道府県別、肝炎ウイルス検査陽性時初回精密検査助成受検者率	初回精密検査助成受検者数	成人人口10万人	特定感染症検査等事業と健康増進事業分の合算	
標準	自治体検診-9	自治体健診-5	都道府県別人口10万人当たりの肝臓罹患患者数 (年齢調整つきも含む)	肝臓罹患患者数	人口10万人	がん登録による調査結果	
標準	自治体検診-10	自治体検診-6	都道府県別人口10万人当たりの肝臓死亡率 (年齢調整つきも含む)	肝臓による死亡者数	人口10万人		
標準	自治体検診-11		人口10万人当たりの肝臓死亡率	肝臓による死亡者数	人口10万人		削除 (都道府県毎のデータ取得が困難なため)
絶対	自治体検診-12		都道府県別、人口10万人当たりの肝炎治療医療費助成の診断書発行医療機関数	肝炎治療医療費助成の診断書発行医療機関数	人口10万人		削除 (診断書発行のため医療機関の指定を行っていない都道府県も存在するため)
参考	新規	自治体検診-7	B型肝炎抗体アノログ製剤治療助成受検率	抗体アノログ製剤治療助成受検者数	平成28年度 NDB 実態調査による平成27年度 B型肝炎治療患者数		
参考	新規	自治体検診-8	C型肝炎インターフェロノンフリー治療助成受検率	インターフェロノンフリー治療助成受検者数	平成28年度 NDB 実態調査による平成27年度 C型肝炎治療患者数		
	フオローアップ	指標番号 (新)	項目	分子	分母	備考	
重要	自治体フオローアップ-1	自治体フオローアップ-1	都道府県別、フオローアップ事業実施市町村の割合 (健康増進事業分及び特定感染症検査等事業分の市町村数により算出)	フオローアップ事業実施市町村数 (健康増進事業分及び特定感染症検査等事業分の市町村数により算出)	市町村数	フオローアップの定義は、市町村・都道府県が肝炎ウイルス検査陽性者の精密検査受診の有無・結果を把握し、受診勧奨を行うシステム	削除 (妊婦健診陽性者のフオローアップは実施されていないため)
参考	自治体フオローアップ-2		都道府県別、妊婦健診の肝炎ウイルス陽性者フオローアップ実施市町村の割合	妊婦健診の肝炎ウイルス陽性者フオローアップ実施市町村数	妊婦健診に肝炎ウイルス検査実施市町村数 (全国及び各都道府県別)	研究班として提案する指標	
重要	自治体フオローアップ-3	自治体フオローアップ-2	都道府県別、定期検査費用助成受検者数	都道府県別、定期検査費用助成受検者数	成人人口10万人		

標準	自治体フォローアップ-4	指標番号 (新)	項目	分子	分母	備考
			肝炎ウイルス陽性者受診率	肝炎ウイルス陽性者の指定医療機関受診者数	肝炎ウイルス検査陽性でフォローアップ事業同意者数	県単位、市町村単位いずれも
重要	自治体施策-1	自治体施策-1	肝炎対策にかかると計画・数値目標策定の有無	都道府県別、有り-1、無し-0	定数=1	
重要	自治体施策-2	自治体施策-2	肝炎対策協議会開催の有無	都道府県別、有り-1、無し-0	定数=1	
絶対	自治体施策-3		専門医療機関連絡協議会開催：都道府県の割合	専門医療機関連絡協議会開催都道府県数	全都道府県数	削除（専門医療機関連絡協議会）に関しては、必ずしも都道府県が開催するものではないため）
重要	自治体施策-4	自治体施策-3	コーディネーター養成人数（累積）（人口10万人あたり）	コーディネーター養成人数（累積）	成人人口10万人	
重要	自治体施策-5	自治体施策-4	コーディネーター養成人数（人口10万人あたり）	コーディネーター養成人数	成人人口10万人	肝炎医療コーディネーターは自治体判断による（年度単位）
参考	自治体施策-6	自治体施策-5	コーディネーターの資格更新の有無	コーディネーターの資格更新システムの有無	定数=1	都道府県別、有り-1、無し-0
参考	自治体施策-7	自治体施策-6	コーディネーター配置状況（配置場所別）	少なくとも1人のコーディネーターが配置されている拠点病院数	肝炎患診療連携拠点病院数	肝炎医療コーディネーターは自治体判断による
参考	自治体施策-8	自治体施策-7	コーディネーター配置状況（配置場所別）	少なくとも1人のコーディネーターが配置されている肝炎患専門医療機関数	肝炎患専門医療機関数	肝炎医療コーディネーターは自治体判断による
参考	自治体施策-9	自治体施策-8	コーディネーター配置状況（配置場所別）	少なくとも1人のコーディネーターが配置されている保健所数	保健所数	肝炎医療コーディネーターは自治体判断による
参考	自治体施策-10	自治体施策-9	コーディネーター配置状況（配置場所別）	少なくとも1人のコーディネーターが自治体（市町村）肝炎対策部署に配置されている市町村数	市町村数	肝炎医療コーディネーターは自治体判断による

全 26 指標

全 19 指標

平成 30 年度拠点病院事業指標 (修正前・後)

肝疾患診療地域連携体制強化事業	指標番号 (旧)	指標番号 (新)	項目	分子	分母	備考	備考 (修正に際して)
事業系							
重み案							
重要	拠点-1	拠点-1	肝疾患相談支援センターHP開設	有り=1, なし=0	定数=1		
重要	拠点-2	拠点-2	肝疾患相談支援センターの設置	有り=1, なし=0	定数=1		
重要	拠点-3	拠点-3	相談件数 (総数)	相談件数	定数=1		
重要	拠点-4	拠点-4	相談支援に係る自治体との連携	有り=1, なし=0	定数=1		
研修系							
標準	拠点-5	拠点-5	肝臓病教室の実施回数	実施回数	定数=1	家族支援と肝臓病教室同時開催の場合は評価を 1/2 にする	
事業系							
標準	拠点-6	拠点-6	家族支援講座の実施回数	実施回数	定数=1	家族支援と肝臓病教室同時開催の場合は評価を 1/2 にする 研究班提案の指標	
事業系							
参考	拠点-7	拠点-7	救済支援事業実施	有り=1, なし=0	定数=1	研究班提案の指標	
重要	拠点-8	拠点-8	連絡協議会実施回数	実施回数	定数=1		
研修系							
重要	拠点-9	拠点-9	肝疾患専門医療従事者研修会実施	実施回数	定数=1		
絶対	拠点-10		肝疾患専門医療従事者研修会の内容評価	参加者数	実施回数		削除 (参加人数が必ずしも内容の評価に結びつかないため)
標準	拠点-11	拠点-10	肝疾患専門医療従事者研修会開催時の自治体等との連携	有り=1, なし=0	定数=1	連携：研修会の企画、運営、広報等を自治体と連携して行なっている。	備考に連携の具体的な在り方を追記
研修系							
重要	拠点-12	拠点-11	一般医療従事者研修会実施	実施回数	定数=1		
絶対	拠点-13		一般医療従事者研修会の内容評価	参加者数	実施回数	研究班提案の指標	削除 (参加人数が必ずしも内容の評価に結びつかないため)
標準	拠点-14	拠点-12	一般医療従事者研修会開催時の自治体等との連携	有り=1, なし=0	定数=1	連携：研修会の企画、運営、広報等を自治体と連携して行なっている。	備考に連携の具体的な在り方を追記
研修系							
重要	拠点-15	拠点-13	市民公開講座実施	実施回数	定数=1		
絶対	拠点-16		市民公開講座の内容評価	参加人数	都道府県人口		削除 (参加人数が必ずしも内容の評価に結びつかないため)
その他							
参考	拠点-17	拠点-14	地域診療連携バス運用	地域診療連携バス発行数	定数=1	バスの運用対象は肝疾患の病因を問わない	
標準	拠点-18	拠点-15	肝疾患情報C実施の拠点病院連絡協議会参加	参加回数	年間実施回数		
標準	拠点-19	拠点-16	肝疾患情報C実施の責任者向け研修会参加	参加回数	年間実施回数		
標準	拠点-20	拠点-17	肝疾患情報C実施の看護師・相談員研修会参加	参加回数	年間実施回数		
重要	拠点-21	拠点-18	複数の拠点病院がある場合の連携有無	有り=1, なし=0	定数=1	「連携」とは協議会、市民公開講座等の共催等	